



いいもの成らせるさくらんぼ便り

**「絶対成らせる」さくらんぼ通信**  
Vol. 2 結実最優先！摘芽は控え、摘果で対応しよう



**< 結実を最優先し、摘芽は控えよう >**

- ◆ 例年より**花数が少なく**、「紅秀峰」は**双子花が多い**傾向
- ◆ 3月は高温予報！生育が進み、**凍霜害の発生が懸念**される

**1 今年の花芽の特徴**

- ◆ 花束状短果枝当たりの**小花数が少ない**園地が多い
- ◆ **双子花の発生状況** (R8年：県内8園地、佐藤錦17樹、紅秀峰12樹調査)

	R8	R7	R6
佐藤錦	1.4% (0.0~4.8%)	1.7% (0.0~4.2%)	6.7% (1.3~10.6%)
紅秀峰	5.8% (0.0~28.2%)	2.6% (0.0~6.9%)	13.2% (0.7~21.5%)

- ・「紅秀峰」は前年より**双子花が多い**
- ・日当たりの良い**樹の上部や先端**では**50%程度発生**がみられる樹もある

- ◆ **小花の枯死の発生状況** (調査規模は同上)

「佐藤錦」：平均 1.2% (0.0~4.0%)、「紅秀峰」：平均 1.6% (0.0~14.7%)

- ・前年より発生は少ないが、**早期落葉した「紅秀峰」**等では**花芽の枯死が多い**

**2 今後の対応 ~ 凍霜害のリスク大！結実最優先！！ ~**

👉 近年、さくらんぼは結実が不良となっている！摘芽を見直そう！

「佐藤錦」：摘芽をしない（摘花・摘果で対応）

「紅秀峰」：これまでより花芽を「1芽」以上多く残す

■「紅秀峰」の摘芽程度の例

	目通り	樹上部
本年	3~4芽	3芽
例年	2~3芽	2芽

1芽以上多く残す



※双子花が多いため、上向きの花束状短果枝・新梢基部は多めに残す

摘花の方法はこちらで確認



霜の常襲地域は「紅秀峰」も無摘芽

凍霜害対策のため、下向きの花芽を1芽多く残した

👉 摘芽は、芽のふくらみを確認してから行う！

**【早期落葉が発生した園地の対応】**

凍霜害による小花枯死のリスクが高いため、**摘芽を控え、人工受粉を徹底**する。



摘芽する場合は、焦らずに、凍害の有無（赤丸の花芽：凍害あり）がはっきりしてから行う

**【今年の結実安定に向けて再確認！】**



- ・ヨシ巢の先端の個体が死んでいると、奥のハチも出られずに死んでしまう。
- ・できるだけヨシ巢を割って、マユを取り出し、脱出数を増やす。
- ・ヨシ巢を割るのは、概ね3月上旬頃までに行う。～詳細はマメコバチ特集号参照～